

令和7年度第3回 鳥取支部評議会の概要報告

開 催 日	令和8年1月19日 月曜日 午後1時30分から3時30分
開 催 場 所	協会けんぽ鳥取支部 会議室
出 席 者	遠藤評議員、北村評議員、徳田評議員、野川評議員（議長）、 松本評議員、向井評議員、盛田評議員【五十音順】
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和8年度 支部保険料率について 2 令和8年度 支部事業計画について 3 令和8年度 支部保険者機能強化予算について 4 その他
議 事 概 要 (主な意見等)	<p>○議題1 令和8年度 支部保険料率について 資料に基づき事務局より説明</p> <p>資料1-1 2026（令和8）年度保険料率について 資料1-2 令和8年度 鳥取支部保険料率</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【学識経験者】 保険料率が引き下げとなり、保険料を納める側からすると喜ばしいことだが、料率試算のシミュレーションでは10%を維持していかないと近い将来財政状況が厳しくなるようなものであった。平均保険料率 0.1%の引き下げにより財政状況の悪化が更に前倒しになるのではないかとと思われるが、そういった事情についても試算上は問題ないと判断し、引き下げに至ったのかお聞きしたい。</p> <p>【事務局】 今回の平均保険料率 0.1%引き下げは、運営委員会や評議会でのご意見、厚生労働省からの要請、政府方針や社会保障制度改革の動き等を総合的に判断したものであり、足元としては準備金もあり影響は少ないものと認識している。財政状況については、中長期的に安定した運営を目指している中で、今後も慎重に判断していく。</p> <p>【事業主代表】 引き下げられたことは事業主としてありがたいことだが、引き下げられたことに正直驚いてい</p>

る。料率の引き下げや国庫補助に係る特例減額、剰余金の健保組合への補助等、国の方針に左右されることが多く、協会での議論の意味に疑問を感じることもある。インセンティブ制度については、協会として実施しなければならないのか。

【事務局】

都道府県単位で健康増進のため様々な取り組みを進め、数値が良くなっている支部についてはインセンティブとして保険料率に反映させている。鳥取支部の令和 8 年度保険料率は全国平均より低くなっているが、より保険料を低くするためには、インセンティブ制度で結果を出していかなければならないと考えている。国庫補助等については、特例減額の控除額に令和 8 年度から 3 年間で 1,500 億円を上乗せすることとなったが、補助率については令和 10 年度までは 16.4%が維持される見通しであり、評議員の皆様からのご意見・ご要望も踏まえ、それ以降も維持されるよう要請していく。

【被保険者代表】

鳥取支部の料率は 0.07%引き下げとなったが、介護保険料率が 0.03%上がり、子育て支援金支援率も 0.23%ということで、トータルで見ると 0.19%引き上げで負担は増える。負担増による納得感が得られないため、健康保険料率は引き下げ、ガス抜きが行われたようなイメージである。下がることは良いことだが、将来を見通した安定的な維持と言いながら場当たりの感じが拭えないのが率直な感想。

【事業主代表】

2025 年の全国企業倒産件数は 10,000 社を超え、今後も中小企業の淘汰は進むであろうし、中小企業は経営が苦しい中で、保険料、介護保険料、子育て支援金、特例減額の増加と、草刈り場感が否めない。

【被保険者代表】

子育て支援金について、医療保険料とあわせて徴収ということは、まさに取れる所から取るという状況であり、将来、他の分野のことで同様の徴収が行われるのではないかと危惧する。

【被保険者代表】

物価上昇の影響により給与が上がっても実感がない中で、介護保険料の上昇や子ども・子育て支援金の負担が加わり、実質の所得はさらに下がる。事業主や被保険者への周知を丁寧に行ってほしい。

○議題 2 令和 8 年度 支部事業計画について

○議題 3 令和 8 年度 支部保険者機能強化予算について

資料に基づき事務局より説明

資料 2-1 令和 8 年度 事業計画（案） 新旧対照表

資料 2-2 支部事業計画 KPI 比較表

資料 2-3 令和 8 年度支部広報計画

資料 3 鳥取支部 令和 8 年度予算（支部保険者機能強化予算）

【被保険者代表】

テレビ、ラジオについては鳥取支部では行っていないが他の支部では取り組みされているのか。また、現役世代への周知として、WEB（YouTube や X、WEB 広告等）を活用した紙媒体以外の広報を進めてみても良いのではないかと。

【事務局】

実施している支部もあるが、鳥取支部では予算上の都合上テレビやラジオでの広報は実施していない。紙媒体以外については、メルマガやラインでの広報を推進しており、今後、デジタルコンテンツを活用した広報について検討している。

【学識経験者】

若者世代の負担感が非常に大きいといわれる中、若者世代へ情報発信をしていくことは重要であり、効果的な媒体での広報やサービスをぜひ検討いただきたい。

【被保険者代表】

地域の医療費データの分析等、データに基づく情報発信やアプローチをぜひ推進してほしい。また、鳥取支部は運動習慣等が良くないということだが、あえてマイナス面の現状を伝えることで、関心を持ってもらえるのではないかと。

【事務局】

1 月 1 日の新聞にて、運動習慣等、鳥取支部の健康課題を含めた支部長インタビュー記事を掲載した。また、保健所等と連携した事業所訪問の際には、医療費データ等を活用したアプローチもしていく予定である。

○議題 4 その他

資料に基づき事務局より説明

参考資料 電子申請にかかるチラシ

【被保険者代表】

被保険者の代理として事業主から申請可能か。

【事務局】

不可である。

【学識経験者】

ほぼ全ての申請が可能とあるが、基本は全ての申請がオンラインで手続きできるが、何か特殊な場合は書類で行うという意味か。

【事務局】

現金給付や任意継続等、被保険者が行う申請はオンラインにて申請可能だが、資格確認書交付申請書等、事業主が行う必要がある手続きは不可である。

特記事項

- ・傍聴人：新日本海新聞社記者1名（令和8年1月20日朝刊に記事掲載）
- ・次回評議会の予定：令和8年3月